

令和8年6月16日

報道関係者 各位

市川市 文化国際部長 日暮 真司

フレンチ・リビエラ映画祭受賞に伴う市長表敬訪問について

平素より本市の文化行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この度、市川市在住の草森冬弥氏が、本年5月に開催されましたフレンチ・リビエラ映画祭の「マイクロショート」部門において、最優秀賞を受賞されたことに伴い、下記のとおり表敬訪問されますので、お知らせいたします。

記

1. 日時
令和8年6月18日（木） 午後3時10分～午後3時30分
2. 場所
市川市役所第1庁舎4階 秘書課 応接室
3. 訪問者
草森 冬弥（くさもり ふゆび）氏
4. その他
草森氏の経歴及び受賞作品等の詳細は別紙をご覧ください。

以上

【問い合わせ】

文化国際部 文化芸術課長 鈴木 久美子
電話 047-712-8557

フレンチ・リビエラ映画祭の受賞者・受賞作品について

【草森氏の経歴】

- ・市川市出身、現在も宮久保在住。
- ・明治学院大学 文学部 芸術学科卒。
- ・映像芸術を学び、マルチメディアアーティストとして活動。
- ・音楽レーベル「des Rêves Inachevés」を主宰し、美術・音楽・映像・文芸を横断する作品を制作。
- ・3年ほど前から生成 AI を用いた映像作品に取り組む。
- ・都内の学校図書館で司書として勤務する傍ら、映像作品を制作。
- ・昨年より海外の映画祭に出品。
- ・本年、フレンチ・リビエラ映画祭（カンヌ映画祭と同時期に南仏で開催）にて「Be my double.」が MicroShor（マイクロショート）部門最優秀賞を受賞。
- ・同映画祭では「Épiphanie des Limites」も Finalist に選出。
同作はニューヨーク・インディペンデント映画祭でも正式選出。

【受賞作品】

作品名:「Be my double. (ビー・マイ・ダブル)」

- ・フレンチ・リビエラ映画祭の「マイクロショート」部門にて最優秀賞を受賞。
- ・受賞作は現代アートの短編映像で生成 AI を使って制作した。
- ・銀白色の鏡に囲まれた静寂の世界を少女がさまよう詩的な作品。(1分40秒)

【フレンチ・リビエラ映画祭】

- ・2019年にフランスのカンヌでスタート。今回で8回目。
- ・世界の優れた短編作品を表彰する国際映画祭。
- ・部門
 - ①ドラマ
 - ②コメディ
 - ③ドキュメンタリー
 - ④アニメーション
 - ⑤SF/ホラー
 - ⑥実験映画
 - ⑦ミュージックビデオ
 - ⑧ライフスタイル
 - ⑨ファッション
 - ⑩アクティビズム(社会活動)
 - ⑪学生映画
 - ⑫マイクロショート
 - ⑬人工知能
 - ⑭最優秀コマーシャル賞
 - ⑮最優秀脚本賞

※本人は映画祭の招待を受けたが、今回は渡仏せず。